

富士見市鶴瀬地域公民館運営審議会議事録

開催日時	平成28年12月16日(水)午後7時00分～午後9時15分
会場	鶴瀬公民館 いきいき活動室
出席者	瀬戸 篤地区議長、長ヶ原美博委員、山川亜紀子委員、佐野正幸委員
事務局	鶴瀬公民館長、同副館長 (合計6名)
欠席者	なし
会議録確認	瀬戸 篤地区議長
公開・非公開	公開(傍聴人 0名)

会議内容

○傍聴希望者がいないことを確認。

(1) 報告事項

①第2回鶴瀬地域公民館運営審議会会議報告(別紙)

・会議録に沿って要点のみ報告。

②公民館事業報告(12月～2月)及び今後の公民館事業予定について

・協議事項の1番目の項目と重なるため、協議事項のところで報告する旨を確認。

③平成28年度施設維持管理工事・修繕等について

・資料に基づき、修繕8項目(スピーカー取り付け修繕、ドアヒンジ交換修繕、FMバルブ交換修繕、蛇口交換等修繕、照明器具交換修繕、消防用設備交換修繕、空調設備部品交換修繕、バッテリー充電器交換修繕)、工事1項目(キュービクル交換修繕)について報告。

(質疑・意見等)

- ・ホールは、竣工後17年目に改修した。次の改修はその17年後に行うべきところだが、数年遅れている。今年度中に設計をし、来年度実施計画を提出し、認定されれば再来年位には改修に入る。音響・照明・吊物をまとめてやるか個々にやるかなども課題。いずれにしても、事故を未然に防ぐためにも、修繕対応の必要性もある。
- ・その他にも急ぐべきは、との質問。バリアフリー化も対応しないといけない旨を回答。また、ホールの一重ドアへの対応の必要があるが、まずはロビーへのモニター設置で対応できる可能性のあることも説明。
- ・利用して気付く、どこか修繕すべきところがあれば教えていただきたい。
- ・ホールの椅子は大丈夫かとの質問。大きな問題はない旨を回答。

## (2) 協議事項

### ①鶴瀬公民館における事業について

○公民館長から、先ず次の内容を発言。

事業について、委員の皆さんの感想やご意見を伺う必要があると感じている。改めて私たち公民館がやってきたことを今後お伝えし、皆さんのご指摘があれば出していただきたい。

鶴瀬公民館は担当エリアが広い。他の公民館は地域との連携事業があるが、当公民館は全市事業もあるため、地域事業ができ切れていない。この部分などは、課題である。また、交流センターを含めたところでの担当エリアの見直しも課題。協働推進課が「まちづくり協議会」の設置を進めており、方向性としては小学校区ごとに一つを目指している。公民館もこの考え方が理想だが、当公民館区は3小学校区を担当している。ここも課題である。

(質疑・意見等)

- ・例えば、公民館でもまちづくり協議会の様な取り組みをしているところがあるかとの質問。以前の答申で、「公民館事業は企画運営委員会で考えよう」との方向がある。当公民館でも同委員会を立ち上げたが、その後進められていない旨を回答。
- ・企画運営委員会では小学校との協力関係を作るという考え方があったかとの質問。小学校単位の小さな地域を見るようにしないといけないという考え方のあること、地域の人と作り上げていく事業の必要性がある旨を回答。

○質疑後、公民館長より追加説明

- ・子供関連事業：「地域子ども教室」として平成17年ころから行ってきたが、鶴瀬小学校は途中から休んでしまっていた。それを今年改めて復活させる準備中である。来年度からは、本格的に実施するので支援したい。
- ・高齢者関連事業：鶴瀬学級では、月に一回の教養講座とクラブ活動を行っている。今の課題は、クラブ活動の講師。講師も高齢の方が多く、引退すると後任がなかなか見つからないことなどがある。
- ・市民生活講座：今年度は、そば打ちとリース作りを行った。内容を広げることなどが課題。
- ・文化活動支援事業：ホール活用の支援をしているが、利用条件がまだまだ周知されていない。周知、条件整備などが課題。
- ・全市事業：子どもフェスティバル市民大学地域自治シンポジウムなど、それぞれに歴史がある一方、それぞれに課題も抱えている。具体的には予算の扱いを背景に、公民館と実行委員会との係わり方などが課題となっている。
- ・公民館だより：現在年10回発行している。事務事業評価では、年12回発行が好ましいと指摘された。水谷東公民館は世帯数が少ないこともあり、12回発行している。交流センターとの調整が、課題となっている。

(質疑・意見等)

- ・ NPO法人富士見市民大学も、拠点を構えられるとよい。
- ・ 文化活動支援事業の実施要領も、委員さんの意見も聞きながら作れるとよい。
- ・ 何に関しても、4人の委員さんから良い考えがあったら、出してほしい。
- ・ 子どもフェスティバルは現役の市P連の役員さんなどが関わっているが、OBやOGの人たちが関わってくれれば、運営形態が工夫できてよいかもしれない。

○質疑後、公民館長より追加説明

- ・ 今年度の実施計画で、ホールの音響・照明機器の講習会を提起した。市民の方の力を借りたホールの活用が作れたらと思う。キラリ☆ふじみでも、「キラリスト」というサポーターがいる。(計画の認定はなかった)
- ・ 昨年高校生のボランティア講座も提起した。今の公民館利用者の方は高齢の方が多くなってきており、ここに若い高校生が関わってくれれば公民館自体も変わってくる。(計画の認定はなかった)

(質疑・意見等)

- ・ 志木高校では、ボランティア活動を大学推薦の基準に使っていた。これを志木市役所では上手に高校と連携し、高校生の力を借りていた。とても良いやり方だと思う。
- ・ 市民学芸員を、小中高校生にやってもらうことも、話題性があって良いと思う。

② 平成28年度事業評価の取り組みについて

公民館長から全27事業を4人で分担との提案を最初に行ったが、結論としては4人が全事業を担当する中で、できるところを評価していただき、追って4人全員で評価していくという方法を採用することとなった。各委員が15事業を目安に評価を書いてもらえるとよい。公民館と各委員がメールでやり取りをし、評価の確定会議は一回でやり切りたい。

具体的なやり方としては、3月上旬までに各職員が自身の担当事業をまとめ、その後メールでのやり取りを経過した後、3月下旬に会議ができる流れで行きたい。

(3) その他

新年のつどい、新春サークル交流会、生涯学習関係5委員会研修会・交流会、入間地区公民館研究集会などについて、事務局より説明。

※次回日程の確認：平成29年4月12日(水)19:00から